



# 11月 ピッコロだより

## 【11月の活動】丁寧なことばを使う／気持ちを切り替える

月	火	水	木	金	土
2 丁寧なことばを 使おう	3 文化の日	4 丁寧なことばを 使おう	5 丁寧なことばを 使おう	6 丁寧なことばを 使おう	7 丁寧なことばを 使おう
9 丁寧なことばを 使おう	10 丁寧なことばを 使おう	11 丁寧なことばを 使おう	12 丁寧なことばを 使おう	13 丁寧なことばを 使おう	14 丁寧なことばを 使おう
16 気持ちを切り替える 方法を知ろう	17 気持ちを切り替える 方法を知ろう	18 気持ちを切り替える 方法を知ろう	19 気持ちを切り替える 方法を知ろう	20 気持ちを切り替える 方法を知ろう	21 気持ちを切り替える 方法を知ろう
23 勤労感謝の日	24 気持ちを切り替える 方法を知ろう	25 気持ちを切り替える 方法を知ろう	26 気持ちを切り替える 方法を知ろう	27 気持ちを切り替える 方法を知ろう	28 気持ちを切り替える 方法を知ろう
30 気持ちを切り替える 方法を知ろう	※専門職の来所日は下記になります。 公認心理師(松本): 6日(金)、10日(火)、18日(水)、21日(土)、27日(金) 言語聴覚士(永山): 4日(水)、9日(月)、12日(木)、13日(金)、17日(火)、19日(木)、25日(水)、28日(土) 理学療法士(樋口): 5日(木)、11日(水)、24日(火)、30日(月)				

### (今月の主な活動) 丁寧なことばを使う／気持ちを切り替える

ねらい: さまざまな人や場面に合った丁寧なことばの使い方を知る／自分の思い通りにいかない時の気持ちを切り替える方法を知る

☆先生や異年齢の友だち、学校や家やお店等、さまざまな人や場面に合ったことばの使い方を考え、丁寧なことばの使い方を学んだり、実践し  
ります。 <丁寧なことばを使おう>

☆緊張したり、嫌なことがあったりした際など、さまざまな場面に応じた気持ちの切り替え方を学び、実践します。

<気持ちを切り替える方法を知ろう>

### ★お知らせとお願い★

- ・提出書類につきましては、保護者の方より職員へ直接お渡しください。
- ・個別での引継ぎを希望される方は、職員へ事前にお伝えしていただけたら、対応させていただきますので、お知らせください。
- ・社会福祉法人 落穂会のホームページ(<http://www.asahigaokagakuen.jp/>)におたよりを掲載していますので、ご確認ください。実績記録表について、これまで請求書に同封していましたが、当日にご署名を頂くシステムに変更致しました。ご理解、ご協力の程、よろしくお願い致します。
- ・登園時間は、平日 16時20分まで、土曜日(午前) 10時20分まで、(午後) 13時50分までにお願いします。
- ・お迎えは、平日 17時20分～18時の間、土曜日(午前) 11時50分～12時10分の間、(午後) 15時20分～15時40分の間にお願い致します。また、お迎えの際は引き継ぎ 20分前に番号札を準備しますので、来所された順に取ってお待ちいただき、引継ぎ開始時間になりましたらインターホンにてお知らせください。

### 【キャンセル待ちについて】

- ・キャンセル待ちの受け入れの連絡は、平日は当日の午前中まで、土曜日は前日までにトリアより連絡をさせていただきます。連絡がない場合は受け入れが難しい為、ご了承ください。

### 【欠席連絡について】

- ・平日は 16時以降、土曜日(午前)当日 9時30分以降、(午後) 13時以降の欠席連絡となりますと、おやつ代(¥60/日)をご負担頂きますので、ご了承ください。また、職員不在の際は、留守番電話にメッセージを残しておいてください。  
※都合により、活動内容が変更になる場合は、入口掲示板にてご案内致します。

### 【10月の振り返り】

<こんなときどうする?>

・怪しい人に声をかけられた時や、ゲームで負けた時など、生活の中で起こりうる場面の対応方法についてみんなで考えました。また、実際にロールプレイを行い、対応方法を実践してみました。

<これってどんな合図?>

・ことば以外に行動やジェスチャーでも意思を伝えられることを学びました。また、ゲーム等を通して、実際にその行動やジェスチャーの意味を考え、意思を読み取る練習も行いました。

## ※活動の参加方法について

9月の天文館の飲食店でのクラスター感染をあったことから、参観する際は保護者より希望の連絡を頂くことは変わりませんが、当日の参観の希望人数やお子様的人数によっては、受け入れを断らせて頂きたいと思っております。

コロナウイルス感染症の流行傾向によっては、一部対応を変更する可能性もありますので、その際はまたこちらからお知らせ致します。

大変申し訳ありませんが、ご理解とご協力のほどよろしくお願い致します。



## 利き手について

皆さんの利き手は右ですか、左ですか？専門的には「利き手とは日常必須の習慣的行為における一方の多用傾向を言い、本人が主観的に使いやすいと感じる側が間違いなく利き手である」とあり、「社会的規範のために変換される場合でも、変換された行為（書字・箸など）以外についての使いやすさは本来の使用傾向のある側に残る」とされています（引用：神経心理学入門、医学書院）。

難しいですね。つまり利き手は脳の働きと関係しますので、生まれた時に既に決まっていると考えられています。利き手が定まるのは4～7歳（諸説あり）と言われますが、それは利き手が決まっていないのではなく、どちらの手もまだ十分に使えないためにはっきりしない、ということになります。生活環境の多くが右利き用に作られているにも関わらず左手を使うということは、それだけ左が使いやすいとも言えます。そのため、もし右利きに変えてあげたいと思う場合には少し注意が必要になると考えています。

まず、幼いうちは道具や場面で使う側が変わりやすいので、利き手を決めつけず、両手ともよく使うことを大事にするとよいでしょう。また左利きの傾向が出てきた時にも、左の使用を否定せずに「上手にできるね。こっち（右）でもしてみよう」と誘ったり、5～6歳になって理由がある程度理解できるようになったら、本人の使いやすさ、考えも確認し、お互いの納得の上で一緒に練習したりするという関わりが望ましいと思います。そのお子さんにとって使いにくい側で練習するのですから時間がかかりますし、理由がわからずに左手の使用を止められると、自分はだめだと感じてしまう場合もあります。焦らずに関わりましょう。

もちろん、現在は左利きに対するとらえ方も変わり、左利き用の道具も身近になり、利き手の変更はせずに困った時には一緒に考えて工夫することも選択の一つです。ちなみに私は右利きですが、この仕事を始めてから、脳を広く使い、体のバランスを整えるために、意識的に左手も使うようにしています。皆さんもいかがでしょうか？



言語聴覚士 永山理香

